全国中学校スケート大会 フィギュアスケート女子 参加人数算出方法について

（公財）日本中学校体育連盟 スケート競技部

令和８年度のフィギュアスケート女子参加選手については、以下のとおり選手数制限を行います。

1　割合で求める人数計算の原則

①最大 108 人－②基本数 47 人－③スケート連盟推薦枠約 10 人－④開催地都道府県枠1名＝⑤割当数 50 人

〔 説 明 〕

① 最大 108 人は､全国中学校スケート大会フィギュア競技日程での受け入れ可能最大人数。

② 基本数は都道府県で最低１名（６級以上取得者)の参加を保証するもの。出場者のいない都道府県枠を他都道府県に与えることはしない。

③ スケート連盟推薦枠は､前年度本大会、当年度の全日本選手権､全日本ジュニア及び全日本ノービスの各大会において 10 位内選手を本大会への推薦選手とする。

・前年度の全国中学校スケート大会において 10 位以内の選手は、推薦枠として出場することができる。

また、当年度全日本選手権､全日本ジュニア及び全日本ノービスの各大会の 10 位以内の選手は、推薦枠として出場することができる。

・従って上記の４大会で 10 位以内の選手がいる都道府県は、選手数が増える。

④ 開催地都道府県枠は、①～③以外に１名とする。

⑤　残りの 50 人については、前年度実績により、次の計算で都道府県に割り当てる（割当数)。

・前年度本大会の順位の逆数を順位点として都道府県毎に合計を計算する。各都道府県順位点の全体に占める割合をもって、50 人を分ける。（小数点以下第１位を四捨五入して整数にする）

・四捨五入の結果、50 人を超える場合は１名割り当てられた都道府県の順位の低いところが削除される。四捨五入の結果、50 人より少ない場合は､割り当てられなかった都道府県の順位の高いところが追加される。

・割当数については、前年度大会時点で集計し、選手の引っ越し等による再計算はしない。

2　計算例（令和８年度 都道府県割当数算出)

$$\frac{\text{都道府県順位点}}{\text{順位点合計点 3240}} \times 50 + \text{基本数(都道府県各１名)} = \text{都道府県割当数}$$

◇ 現時点での参加予想人数

都道府県１人	＋	順位推薦※	＋開催地都道府県枠＋	都道府県割当数	＝	参加予想数
４７人	＋	７人※	＋	１人	＋	５０人	＝	１０５人

※推薦人数は、今後の大会結果により変わることがある。